



玉島っ子だより

第15号 令和7年10月22日

文責：校長 森田 祐香

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

にこにこ集会で「命」について学びました

10月15日（水）、全校児童で人権について学習しました。今回は、人権擁護委員の3名様を講師としてお招きし、「命」をテーマとして授業をしていただきました。「2つのケーキ」という教材の読み聞かせや、グループワークを通して、命のつながり、命の大切さや尊さを学びました。限りある命を大切にして、誰にでも優しい心で接することができる人になってほしいと願っています。



1～5年生が、バス旅行に行きました！



10月17日（金）、1～5年生がバス旅行に行きました。今年の行き先は、玄海町エネルギーパークです。屋内施設で、タイルコースター作りをしたり、様々なエネルギーを楽しく体験したりしました。天気にも恵まれ、お弁当を公園で食べた後は、思いっきり体を動かして遊びました。普通の公園ではあまり見かけない遊具を存分に楽しむことができたようです。バス旅行では、出発式、縦割り活動、解散式など様々な場面で5年生がリーダーとなり、下級生をまとめて頑張っていました。そんな姿を、下級生はしっかりと見て学び、成長してくれることを期待しています。



地震津波避難訓練 ～自他の命を大切にする安全教育～

10月20日（月）、地震津波避難訓練を行いました。今回は、地震後に津波が来るという想定で、高台まで避難をしました。昨今、未曾有の大地震が相次ぎ、危機意識が高まると共に、避難訓練の重要性もますます高まっています。いざという時に、冷静に避難できるように訓練を通じて具体的な行動を学び、児童が自分で身を守る方法を覚えられるように指導していきます。

3年生が、みかんハウス見学&苗木植え体験をしました！

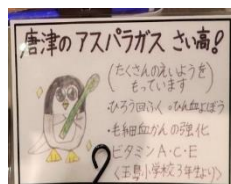
10月14日(火)、3年生がハウスみかんについて学習しました。株式会社シトラスプラス代表の上野勉さん(さくらさん、蒼さんのお父さん)に講師をお願いし、生産の工夫や苦労などのお話を聞かせていただき、苗木植え体験もさせてもらいました。栽培には様々な工夫や



大変な苦労があること、佐賀県がハウスみかんの生産量日本一であることを学んでいました。今回の学びの結びとして、ポスターを作製し販売所へ掲示させてもらうようです。一連の活動を通して、ふるさと玉島を誇りに思う気持ちが、より一層高まっていくことと思います。ありがとうございました。

先月、アスパラの栽培の工夫や苦労について学習した後、“アスパラの美味しさを伝えたい！”との思いから、宣伝カードを作成し、スーパーCarrotの売り場に置いていただくことになりました。子供たちにとって、今後の「玉島学」への更なる意欲につながったと思います。

お店のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



5年生が、郷土料理「だぶ」づくりを体験しました！

10月20日(月)、5年生が「玉島学」として、郷土料理の「だぶ」作りを体験しました。講師として、田中光枝さん(遥翔さん、大葵さんのお祖母さん)をお願いをして、作り方を教えていただきました。

初めて「だぶ」を食べる子もいて、どんな味なのか、材料を前にわくわくしながら調理に取り掛かりました。作り方には、いろいろあるようですが、今回は、お祝いバージョンと日常バージョンの2パターンで、それぞれに材料や味付けを変えてつくりました。給食後の調理でしたが、自分たちで作った「だぶ」は、別腹のようで、みんな「おいし〜!」とロタに言い、お替りをして存分に味わっていました。ふんわりと優しい味の「だぶ」を食べながら、子ども達の表情もふんわりと和らいているようでした。

食べた後は、田中さんへ色々な質問をして「玉島学」の学び深め、振り返りでは“伝統の味を引き継いでいける人になりたい”という感想もありました。浜玉町の郷土料理を知り、地域の味を大事にしながら育っていくことに繋がる、貴重な体験となりました。ありがとうございました。

